

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 土砂災害箇所への復旧・復興のあゆみ

豪雨に伴う土砂災害発生箇所の応急復旧状況

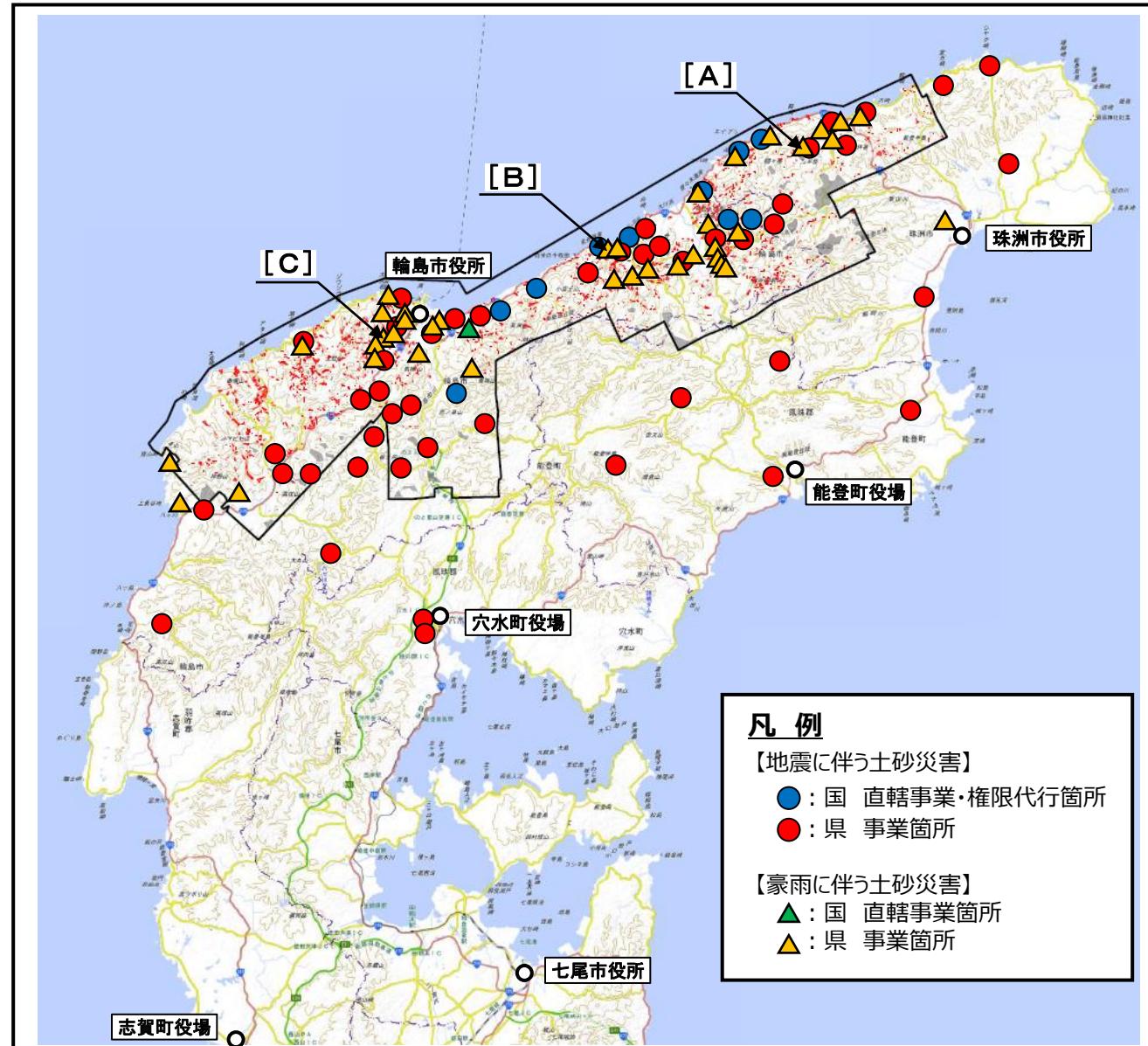
土砂災害の状況

令和6年能登半島地震からの復旧作業を進める中で起きた令和6年奥能登豪雨では、新たに267箇所の土砂災害が発生しました。

県では、人家や道路に隣接し二次災害のおそれがあるなど、早期の復旧が必要な箇所において、流木や堆積土砂の除去などの応急復旧を進めています。

また、豪雨により大規模な土砂災害が発生した39箇所について、被害拡大防止のための監視体制を継続するとともに、今後、関係機関と連携しながら復旧工事を進めていきます。地震による被災箇所も含め、早期の復旧・復興に向け全力で取り組んでいきます。

主な土砂災害発生箇所図



土砂と流木により、浄水場の取水口が埋塞



堆積土砂や流木を除去し、取水口を確保



[A] 珠洲大谷川 (珠洲市大谷町地内)

流木により河道が埋塞



流木の除去および土のう積みによる護岸保護



[B] 谷内出川 (輪島市名舟町地内)

流木除去・土砂掘削により流路を確保



[C] 輪島市山本町地内